



バイオマス利活用技術情報データベース調査票（飼料化施設用）

（社）地域環境資源センターでは、バイオマス利活用施設整備の促進を図るためには、これから施設を建設しようとする地方公共団体等に対して、施設の計画、設計、工事発注等の関連業務を効率的に進める上で参考となる技術的な情報を提供することが重要であるとの観点から、既設の施設に関する情報を収集・登録し、広く提供するための「バイオマス利活用技術情報データベース」の整備を進めています。

本調査票は、当該データベースに登録するための市町村等からのデータ提供用のものであり、この調査票によって得られたデータはウェブ上で一般に公開する予定です。

関係の皆様にはデータベース構築の趣旨をご理解の上、何とぞご協力賜りますようお願い申し上げます。

本調査に関する問合せ先、調査票提出先

（社）地域環境資源センター バイオマス技術部
 バイオマス利活用技術情報データベース担当 あて
 〒105-0004 東京都港区新橋5丁目3番4号 農業土木会館6階
 電話：03-3432-6283 FAX：03-3432-0743
<http://www.jarus.or.jp/>
 mail：datainfo@jarus.or.jp

i 調査票記入者（連絡用）

次の表の情報は、次ページ以降の調査票にご記入いただいた内容に関する問合せ等の連絡先としてのみ利用するものです。これらをデータベースに登録したり公開したりするものではありません。

調査票記入年月日 平成 年 月 日

氏名	
所属	
住所	〒
電話番号	
FAX 番号	
e-mail アドレス	

ii フロー図・物質収支図・カタログ等

調査票と、併せてパンフレット（対象施設のフロー図や物質収支図を含むもの、地域の活動に関するもの等）や設備のカタログ等をご提供くださるようお願いいたします（PDF形式などにより電子化されたものが望ましいですが、ない場合は印刷物でも結構です）。

なお、ご提供いただいたパンフレット等の全部または一部は本データベースの検索結果の一部として閲覧、ダウンロードできるようにする予定です。あらかじめご了承ください（ご提供いただくパンフレット等に公開できない部分が含まれる場合は、その部分に印をつけるなどにより明示してください）。

1. 施設の概要

1.1 施設の名称					
1.2 施設の名称（フリガナ）					
1.3 所在地（住所）	都道	郡	市区		
	府県	市	町村		
	市区町村の地方公共団体コード（5桁） 不明な場合は空欄で結構です。				
1.4 供用開始年月日	西暦	年	月	日	
1.5 施設全体の敷地面積	m ² （整数）				

1.6 管理主体

(1) 管理主体名	
(2) ホームページ URL	http://

※施設の概要などを紹介しているホームページを公開している場合の URL としてください。なお、ここに記入していただくウェブページは本データベースにおける検索結果からリンクする予定ですので、それにご了承いただける場合のみご記入ください。

1.7 維持管理概要（管理費、管理人員とも整数）

	計 画	実 績
(1) 維持管理費	千円/年	千円/年
(2)・維持管理人員(常勤)	人	人
・非常勤人員	人	人

※公表可能な場合は、実績値もご記入ください。

1.8 事業概要

(1) 事業名	
---------	--

※事業主体が用いている当該施設の整備に係る固有の事業名としてください。通称名でも結構です。

(2) 事業主体名		
(3) 総事業費	百万円（百万円未満四捨五入）	
(4) 助成制度利用の有無	1. 有 2. 無 どちらかを○で囲んでください。	
(5) 利用した助成制度名と助成主体名 ※複数あれば列挙してください。	助成制度名	助成主体名

1.9 その他団体等

(1) 団体等名称	
-----------	--

※施設の設計や維持管理に当たって、特に技術的な協力を得ている研究機関、大学、民間団体等があれば、その名称を記入してください。

2. 設備の製作・据付会社

本施設における設備の製作または据付を含む工事等（事業主体が自ら発注した設備の購入契約を含

みます)及びその受注会社(設備メーカーや据付工事の施工会社又はJV)について記入してください。

設備の製作や据付を含まない土木・建築工事(例えば敷地造成、外構整備、上屋建築などを個別に発注したもの)は調査対象外ですので、ご記入いただく必要はありません。

同一の受注会社(又はJV)が複数の工事等を行った場合は、それらをまとめて1件とし、総工費(契約金額)は合算してください。

受注会社(又はJV)の異なる複数の工事等がある場合は、お手数ですがこのページをコピーのうえ、受注会社(又はJV)ごとにご記入ください。

2.1 工事等の件名	
-------------------	--

※複数年度にわたる場合などで複数の異なる件名がある場合は、請負金額が最も大きい工事等の件名とし、その他の工事等の件数を「他〇件」と追記してください。例:「〇〇建設工事他2件」

2.2 工事等の内容	1 設備の製作・購入を含む 当該工事等で製作または購入した設備(複数選択可) 1. 前処理設備 2. 固液分離設備 3. 脱脂設備 4. 濃縮設備 5. 乾燥設備 6. 発酵設備 7. 脱臭設備 8. 排水処理設備 9. 製品貯留設備 10. 付帯設備(たい肥化施設等、飼料化施設以外のバイオマス利活用設備) 11. その他()
	2 変換設備の製作・購入を含まない ※設備の据付のみを行う工事が該当します。

工事等の内容が変換設備の製作(または購入)を含むか含まないかを選択のうえ、変換設備の製作・購入を含む場合は該当する設備の番号に○をつけてください(複数選択可)。

設備の区分については本調査票7ページの「4. 設備の概要」を参照してください。

2.3 総工費(契約金額)	百万円 (百万円未満四捨五入)
----------------------	-----------------

※複数年度にわたる場合などで複数の工事がある場合はそれらの工事費の合計としてください。

2.4 全体工期(契約等の期間)	着工: 西暦 年 月 ~ 完了: 西暦 年 月
-------------------------	-------------------------

※複数年度にわたる場合は最初の年の着工年月から最後の年の完了年月としてください。

2.5 受注形態(単独かJVか)	1. 単独 2. JV 該当するものを○で囲んでください。
-------------------------	----------------------------------

2.6 受注会社名

(1) 会社名 ※JVの場合はJV名	フリガナ
(2) JVの場合の構成会社名 ※JVの構成会社を出資比率の大きい順にすべて列挙してください。	フリガナ
	フリガナ
	フリガナ
	フリガナ
	フリガナ

会社名の記入について:

- 「株式会社」等の会社種別も省略せずに必ず記入してください。ただし、「(株)」等と略記しても構いません。また、会社種別にはフリガナをふる必要はありません。
- JVの場合の構成会社名は、出資比率の大きい順にすべての会社名を列挙してください。欄が足りない場合は余白等を利用してすべてご記入ください。

3. 変換技術の概要(飼料化)

3.1 飼料化施設の搬入バイオマス

(1) 搬入量 (合計)	年間	t/年 (整数)
	日	t/日 (小数点以下1位まで)
(2) 年間稼働日数	日/年 (整数)	
(3) 種類別内訳	次の表の種類ごとに有無を○で囲った上で、該当するものの計画・設計上の搬入量(t/年、 t/日)と含水率(%)を記入してください。	

原料バイオマスの種類及び比率

	種類	有無	年搬入量 (t/年)	日搬入量 (t/日)	含水率 (%)
1	農産物規格外品 (規格外小麦、規格外豆類等)	有・無			
2	農産副産物 (稲わら、麦わら、豆殻、もみ殻等)	有・無			
3	調理残さ (外食産業、中食産業、コンビニエンスストア、スーパーマーケット、学校給食、ホテル等の野菜屑、パンの耳、魚腸骨等)	有・無			
4	売れ残り・期限切れ食品 (弁当、野菜、果物、大豆食品等)	有・無			
5	食品製造副産物 (でんぷん粕、ぬか類、とうふ粕、ジュース粕、あん粕、茶粕、麦茶粕、缶詰粕等)	有・無			
6	醸造副産物 (ビール粕、酒粕、ウイスキー粕、みりん粕、醤油粕、ブドウ酒粕、焼酎粕等)	有・無			
7	菓子パン、麺類副産物 (パン屑、麺屑等)	有・無			
8	乳業 (牛乳、ヨーグルト等乳酸発酵製品余剰品等)	有・無			
9	魚さい	有・無			
10	飼料添加物	有・無			—
	・ その他1 ()	有・無			
	・ その他2 ()	有・無			
	・ その他3 ()	有・無			

搬入量は原則として計画値を基本としますが、施設稼働後に計画値が変更されている場合は、変更後の計画値を優先願います。

3.2 最終生成物

(1) 生成量 (合計)	年間	t/年 (整数)
	日	t/日 (小数点以下1位まで)
(2) 飼料の種別 (複数選択)	1. 液体飼料 2. 乾燥飼料 3. サイレージ(混合飼料) ・その他 ()	
(3) 種類別内訳	次の表の対象家畜種類ごとに有無(「種類」欄)を○で囲った上で、計画・設計上の仕向量(t/年)、含水率(%)、予定出荷先について記入してください。	

	対象家畜種類 [有・無]	仕向量 (t/年)	含水率 (%)	予定出荷先 (種類ごとに複数可)
1	産卵鶏用 [有・無]			1.畜産農家 2.生産組合 3.飼料販売会社 4. JA ・その他 ()
2	肉用鶏用 [有・無]			1.畜産農家 2.生産組合 3.飼料販売会社 4. JA ・その他 ()
3	豚用 [有・無]			1.畜産農家 2.生産組合 3.飼料販売会社 4. JA ・その他 ()
4	肉用牛用 [有・無]			1.畜産農家 2.生産組合 3.飼料販売会社 4. JA ・その他 ()
5	乳牛用 [有・無]			1.畜産農家 2.生産組合 3.飼料販売会社 4. JA ・その他 ()
・	その他1 () [有・無]			1.畜産農家 2.生産組合 3.飼料販売会社 4. JA ・その他 ()
・	その他2 () [有・無]			1.畜産農家 2.生産組合 3.飼料販売会社 4. JA ・その他 ()

(4) 成分表示の有無	成分表示の有無について、次の表の中で表示されているものを、○で囲ってください。
	1. 含水率 2. たんぱく質 3. 炭水化物 4. 粗脂肪 5. 糖質 6. 灰分 7. 繊維 8. ナトリウム 8. その他 ()

4. 設備の概要（飼料化）

4.1 処理方式

(1) 処理方式 (複数選択)	1. 液状化(リキッドフィーディング方式) 2. 乾燥化(加熱乾燥方式、発酵乾燥方式) 3. サイレージ方式 ・その他 ()
--------------------	--

【設備】

4.2～4.11 の設備について有無を○で囲った上で、有の場合はそれぞれの内容を記入又は選択してください。

4.2 前処理設備	有・無	前処理方式 1. 分別搬入設備 2. 攪拌設備 3. 破砕・粉碎設備 4. 混合設備 ・その他()
4.3 固液分離設備	有・無	固液分離方式 1. スクリュープレス式 2. 遠心分離式 3. 多重円盤式 ・その他 ()
4.4 脱脂設備	有・無	
4.5 濃縮設備	有・無	
4.6 脱水・乾燥設備	有・無	乾燥方式 1. 油温減圧脱水乾燥方式 2. ボイル乾燥方式 3. 発酵乾燥方式 4. 高温乾燥方式 5. 湿式処理方式 ・その他 ()
4.7 発酵設備	有・無	発酵方式 1. 液状の乳酸発酵 2. サイレージの乳酸発酵
4.8 脱臭設備	有・無	処理方式（方式の異なる脱臭設備が複数ある場合は複数選択） 1. 水洗式 2. 吸着法 3. 薬液処理法 4. 生物脱臭法（土壌脱臭法） 5. 生物脱臭法（ロックウール脱臭法） 6. 生物脱臭法（堆肥脱臭法） 7. 生物脱臭法（活性汚泥脱臭法） 8. オゾン酸化法 9. 高温燃焼脱臭 ・その他 ()
4.9 排水処理設備	有・無	処理方式（方式の異なる脱臭設備が複数ある場合は複数選択） 1. 活性汚泥法 2. 接触酸化法 3. オキシデーショondiッチ法 ・その他 ()
4.10 製品貯留設備	有・無	貯留設備量 () t 又はm ³ （単位を選択してください）
4.11 付帯バイオマス 利活用設備	有・無	1. たい肥化施設 2. メタン発酵施設 ・その他 ()

